



D-2640

高野山ロータリークラブ

四つのテスト 言行はこれに照して

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

創立 1986年 昭和61年4月18日

例会 毎週金曜日・12時30分・花菱4階・☎ (0736) 56-2236

事務所 和歌山県伊都郡高野山401 〒648-0211 ☎ (0736) 56-3671 F A X (0736) 56-2763

会長 吉田 紀男 幹事 角濱 正和 会報委員会 川俣, 藤田, 近藤本, 尾上

ロータリーを祝おう R.I. 会長 グレン E・エステス

本日の例会

第885回

2004年8月27日(金)

【ソング】 Sing Everyone Sing

【卓話】 クラブ協議会



8月20日 第884回 例会報告

◎点鐘 吉田紀男会長

◎ソング ふじの山

(ソングリーダー 林栄一 君)

◎ゲスト紹介

元米山奨学生 肖紅岩 様

◎誕生日祝

楠公延 君

◇会長の時間 吉田紀男 会長

アテネ・オリンピックで今日までに日本が獲得したメダルは金9、銀4、銅2、計15個と大活躍をしています。日本がメダルを取るたびに喜びの歓声を上げているところをテレビ中継されています。又、一方では台風15号により、香川、愛媛県では豪雨となり、9名の死亡が報じられています。天災とはいえ尊い命をなくされた皆様に、心からご冥福をお祈りいたします。

さて、先週、13日の例会はお休みでした。何か1週空きますと、いつも頭の隅にあるロータリークラブの事も少し忘れておりました。毎年このお盆の時期になりますと、高野山は南山苑の納涼大会や、ローソク祭り等々、沢山の行事がありまして、皆様方もお忙しい日が続いた事と思います。私も今年初めてローソク祭りで、商工会青年部が担当しているローソク配布の手伝いに行っていました。天候に恵まれて、たくさんの参拝者がお参りにこられ、数万本かのローソクも1時間あまりで無くなりました。今年は、世界遺産に登録された事や天候も良く、例年に比べて随分参加者が多かったようです。お盆の数日間、多くのお客様が訪れ、町の中は近年にない賑わいでした。来山されたお客様が「来て良かった、素晴らしい、もう一度来たい」と思うような、高野山あ

げての街づくりをして行かなくてはならないと思います。今後、私たちロータリアンも「職業奉仕」に照らし、親切丁寧、真心がこもったサービス、街の美化運動等にも積極的に取り組んでいこうではありませんか。

◇幹事報告 角濱正和 幹事

○地区委員長会議のお知らせ

- ①クラブ財団委員長会議 9/18 (土)
於 和歌山 JA ビル
- ②クラブ米山委員長会議 8/21 (土)
於 テクスピア大阪
- ③青少年交換委員会 9/19 (日)
於 テクスピア大阪
- ④クラブ情報規定委員長会議 8/28 (土)
於 和歌山 JA ビル

○例会変更：海南 RC 8/25 → 8/28

◇出席報告 三星博業 君

会員総数	出席義務会員数	本日の出席数	本日の出席率
26名	22名	18名	82%
7月30日の修正出席率		100%	
8月6日の修正出席率		95%	

◇委員会報告

SAA 中本芳也 君

例会を無断欠席した方には、その会員のトレイにSAAから「無断欠席禁止」の書面を入れて、今後無断欠席なさることがないように呼びかけたいと思います。

◎ニコニコ箱 SAA 中本芳也 君

▽世界遺産の町に花火があがりました。

ご協力ありがとうございました。

西辻政親 君

▽2週連続で出席率100%でした。

吉田紀男 君

▽7月30日も出席率100%でした。

三星博業 君

▽本日の卓話は肖紅岩様にお願ひしました。

西本公有 君

▽会員誕生の内祝として。

楠公延 君

◇卓話 「仕事についての自分の考え」

元米山奨学生 肖紅岩 様

私たちは毎日働いて「仕事」をしています。この「仕事」は、どのような意味を持つ



から毎日続けられるのでしょうか？ 私は常にこの事を考えています。

約20年前、まだ中国の大学生であった時、私は、大学を卒業して長い間の学生時代が終わり、自分の新しい人生のスタートが「仕事」につくことだ、と考えていました。

その当時は、中国では政治闘争を中心とした社会体制から経済発展を重視する社会体制への大変革期でした。「仕事」は国家と共産党の利益のために尽くすことという考えから、経済発展の中で各人が生き残るために頑張る個人的な行為に変わりつつありました。丁度その変革期に、私は大学を卒業して仕事につきました。

最初は公務員の仕事、その後、日本語通訳の仕事をしました。情熱をもって全力で仕事に励みました。仕事に精一杯頑張ることは、党と国が私を長年育ててくれた事へのご恩返しであり、かつまた、仕事の中で自分個人の人生の価値を見いだしてそれを実現するために、自分の可能な限り仕事に励もう、と考えていました。

十数年間、このような「仕事」観をもって努力しましたが、中国での仕事を辞めて日本へ留学しました。仕事の中で私の人生の理想が実現できなかったからです。

不思議なご縁で仏教の学問に出会って、仕事について新しく考えるようになりました。仕事を楽しみ、仕事の中で命を燃焼させることが出来るような、自分に相応しい「天職」を探さなければならないと。それに巡り会うまで探し続けます。

◎終 鐘 吉田紀男 会長

来週の例会 9月3日 第886回

◎ソング 君が代 われら高野山ロータリー

◎卓 話 クラブ協議会

K. Fujita